

一般社団法人浜松市医師会

2022 年度 浜松市多職種連携推進事業

『多問題を抱える利用者のケアに関する研修会

(医療依存度の高い利用者を支えるために)』

日 時：2023 年 1 月 25 日（水）19：30 より

場 所：WEB 開催

次第



19：30 開会
あいさつ

浜松市医師会 会長

滝浪 實先生

高齢者福祉課 医療・介護推進担当課長

鈴木 博 様

19：40 講義

講 義 医療処置を継続して、地域で生活を支えるための専門職の対応
特定行為研修と看護師の活躍

聖隷福祉事業団 研修担当看護師 中山久実様

事例提供 ～多問題を抱える利用者を、チームで支えるための

特定看護師の活動～

訪問看護ステーション上西 高関左保様

特定行為看護師との協働

ひらいで消化器・内視鏡クリニック 平出貴乗先生

20：40 質疑応答

20：55 まとめ・閉会の挨拶

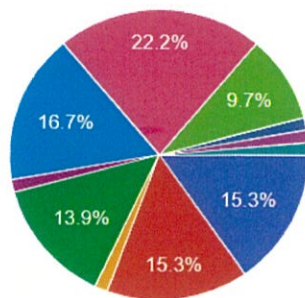
浜松市医師会 在宅医療推進委員会委員

田口内科・循環器科医院

田口 敦史先生

所属

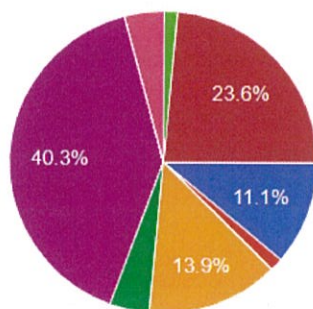
診療所関係	11	15.3%
病院関係	11	15.3%
歯科医院	1	1.4%
薬局関係	10	13.9%
訪問看護ステーション	12	16.7%
居宅介護支援事業所	16	22.2%
地域包括	7	9.7%
看護学校	1	1.4%
在宅医療推進センタ	1	1.4%
施設関係	1	1.4%
行政	1	1.4%
	72	



- 診療所関係
- 病院関係
- 歯科診療所関係
- 薬局関係
- 施設関係
- 訪問看護ステーション
- 居宅介護支援事業所
- 地域包括
- サービス事業所
- 行政
- 看護学校
- 在宅医療・介護連携支援センター

職種

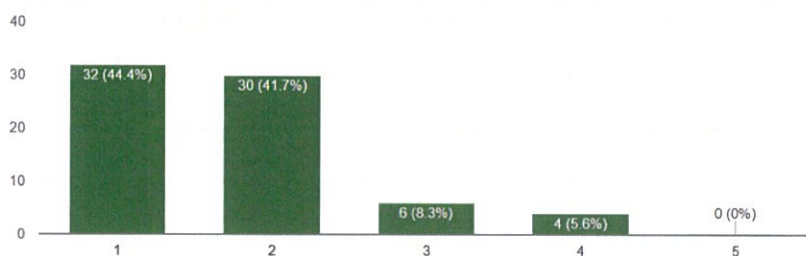
医師	8	11.1%
歯科医師	1	1.4%
薬剤師	10	13.9%
保健師	3	4.2%
看護師	29	40.3%
社会福祉士	3	4.2%
介護福祉士	1	1.4%
介護支援専門員	17	23.6%
	72	



- 医師
- 歯科医師
- 薬剤師
- 保健師
- 看護師
- 助産師
- 社会福祉士
- 介護福祉士
- 介護支援専門員
- 事務
- リハビリ関係 (PT・OT・ST)

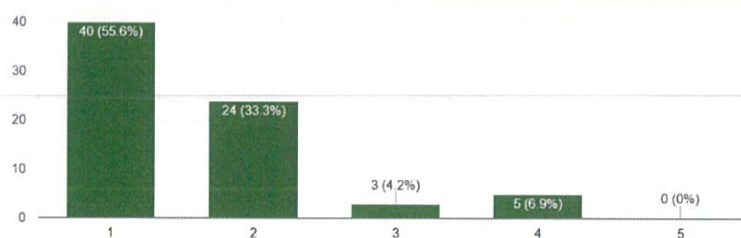
本日の研修で特定行為看護師の制度に関する理解は深まりましたか？

1 非常に理解できた	32	44.4%
2	30	41.7%
3 どちらともいえない	6	8.3%
4	4	5.6%
5 全く理解できなかった	0	0.0%
	72	



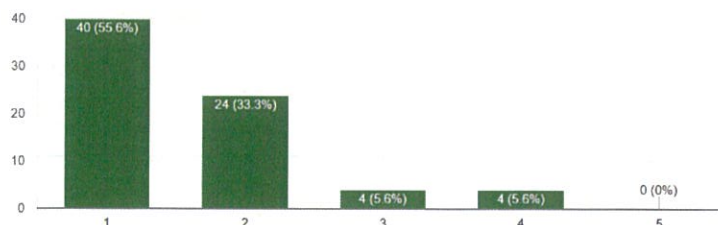
本日の研修で訪問看護における特定看護師の活動についての理解は深まりましたか？

1 非常に理解できた	40	55.6%
2	24	33.3%
3 どちらともいえない	3	4.2%
4	5	6.9%
5 全く理解できなかった	0	0.0%
	72	

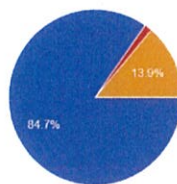


本日の研修でクリニック医師と特定看護師との協働についての理解は深まりましたか？

1 非常に理解できた	40	55.6%
2	24	33.3%
3 どちらともいえない	4	5.6%
4	4	5.6%
5 全く理解できなかった	0	0.0%
	72	



あった	61	84.7%
なかった	1	1.4%
わからない	10	13.9%
	72	



それはどんな点ですか？その理由も具体的に教えてください

【医師・歯科医師】

- ・ 訪問診療でのタスクシフティングが特に補液の部分でお願いできそうなこと
- ・ 病院での特定行為について知りたい。
- ・ 特定看護師が勤務しているステーションを選んでお願いするというやり方をしてみようかと思いました。
- ・ 来院困難な方の胃瘻交換を依頼できる

【薬剤師】

- ・ 特定行為、特定看護師というものを初めて知ることができました。
- ・ 現在在宅訪問している患者様は介護保険の範囲内で医療行為を必要とはしていないものの、投薬患者様の中には癌のステージ4の方もいるのでこれからどのように進まれるかわからないですが選択肢は多い方がいいと思うので今後も様々な情報を収集したいと思った。
- ・ 看護師の特定行為について、その内容や実際の実施方法等理解することができた。薬との関わりも含まれるため薬剤師としてサポートできることもあった。
- ・ 特定行為の対象となる行為かどうかを確認できる点。在宅の際該当するような患者様が身近に発生した時にケアマネさんに提案できると考える点。
- ・ それぞれの職種が協力しあうことで地域でも人生の最期を全うできるということ
- ・ 特定行為にどのようなものがあるかを知ることができたが、現在在宅にあたっておらず、具体的に活用できているイメージができなかったため。
- ・ 薬剤師が職能を発揮することにより、医師は医師にしか出来ない仕事に集中することが出来るという点

【保健師・看護師】

- ・ 在宅支援を検討する際に、訪問看護を利用することも多々ありますが、今回の研修で特定看護師のいるステーションがわかり、依頼できる内容についても知ることが出来とても勉強になりました
- ・ 特定行為をどのように実際の場面で活用できるか？事例にあった、日中点滴をはずし、夕方接続時に脱水状況を考察して、IVh再開時の速度調整をする。病院からの紹介時に重度褥瘡の処置に特定ナースが活躍できる事で、創治癒に促進に繋がるなど。
- ・ 特定行為看護師が褥瘡患者さんに介入する事で、素早いデブリと処置ができたことで、早期に創傷治癒に繋がるということが実際の事例を通してわかりました。
- ・ 在宅医療の広がりの中で、必要不可欠な技術・知識・資格となっていくであろうと感じた。
- ・ 特定行為に対して好意的な医師ばかりではない、医師にやってもらいたいと言う患者が一定数いるため
- ・ やはり顔の見える関係作りが大事ということを再認識しました。また、医師だけでなく薬剤師との協働についても理解が深まりました。残念ながら「特定看護師がいる」という理由で当病院・当施設・当訪問看護ステーションが選ばれたという実績がありません。まずは私たちのグループに特定看護師がいるということを広報していくことと同時に、今連携をしている医師・ケアマネージャーと信頼関係を築くことが重要だと思いました。
- ・ 市内ステーションの研修終了状況がわかったこと。
薬剤師さんとの役割分担も、点滴製剤の調剤を含めお話をうかがうことができ、参考になりました。
- ・ 医師と手順書を交わして看護師が処置をするというやり方をすれば良いということがわかった。
医師との連携方法がわかった。訪問薬剤師との連携の必要性を感じた。
- ・ 訪問看護での特定行為の活用はイメージできたが、病院看護師が特定を取得した場合の活用は、イメージできなかった。
- ・ 特定看護行為が診療報酬上に算定できるようになる事、医師のタスクシフトで看護師に求められる連携がこれまで以上に必要になる事
- ・ 脱水で何度も入退院を繰り返す医療依存度の高い利用者からの相談が多い。特定行為が可能な看護師が在籍する訪問の利用や薬剤師の活用など効果的に調整できるとよいと感じた。

【介護福祉士・社会福祉士】

- ・ 特定行為が行える看護師の養成
- ・ 社会資源を理解し、選択肢の一つとして提案する事が出来るのではないかと。
- ・ 在宅での看取りを希望されていて、高齢世帯で通院が難しいケースなどで相談してみたい
- ・ 看護師による特定行為について理解できた。今後は訪問看護を導入する際、その方の状態によって特定看護師が在籍しているSTも考慮したい。

【介護支援専門員】

- ・ 特定看護師の業務について、知ることができた。天竜区には、特定看護師がいないのが残念。
- ・ 医療依存度が高い利用者や、今後悪化し医療依存度が高くなると想定される利用者への訪看の導入に向けて、特定看護師の配置があるステーションを選択するメリットがあると思った。
- ・ お看取りの事例だけでなく、加算対象外ではあるが、介護保険での特定医療行為も出来ることがわかり、必要に応じて特定医療行為の出来る訪問看護を選択肢として提供したい。
- ・ 特定医療行為が発生する可能性のある利用者については訪問看護の事業所に特定看護師がいるかを確認し、いた場合にはケアプランに盛り込むとともに医師や訪問看護と確認・共有していく必要があるということ。
わかりやすい連携事例の紹介があり、今後、医療依存度の高い利用者を担当する場合に活用できるイメージができた。
特定看護師の存在や事業所の確認ができ、在宅医療の中でも重要性が理解できた。
- ・ 医療依存度の高い利用者様でも、在宅生活を望めば、対応できるしくみがある事を学び、その為に看護師の皆さんが努力しておられる事を知りました。

本日の感想や質問、今後の研修に対するご意見・ご要望

【医師・歯科医師】

- ・ 特定行為の許される内容と、研修や事前指示に必要な手順のバランスが悪い。もっと簡単にもっと広い範囲の業務ができるようになってほしい。
- ・ 特定看護師の情報をくわしく知ることができました。もっと広く知られるようになると、特定看護師の活躍の場が増えると思うので、今回のような機会が、増えるといいなと思います。
- ・ 理解が深まりました

【薬剤師】

- ・ なかなか直接的な関わりを持てていなかった職種の方の業務内容や医療、介護保険の点数や仕事を知ることができ、勉強になった。
- ・ 調剤薬局勤務ですが、クリーンベンチもなく普段無菌調剤をすることがありません。在宅の処方を受けていますがまだまだ勉強不足と感じました。今後薬局でも無菌調剤が当たり前になっていくのかなと思いました。
- ・ 特定行為という単語は漠然と聞いたことはありましたが、今回の研修で浜松でも多職種連携により患者様やご家族に寄り添える医療の手助けができていたことを見せていただき、とても励みになりました。
- ・ 特定行為とは言え、実行されれば患者様も早く楽になることが期待でき、難しいとは思いますが、今後行為の範囲が広がる（医師の医療行為への侵害にならない範囲で）ことを期待します。

【保健師・看護師】

- ・ 制度に関して、看護の実際、連携を図る医師の立場からと、とても具体的でわかりやすかったです。また、意外に研修を受けているステーションがあることがわかり、病院に比べると組織的に小さい為、研修に参加させると言うのは、ハードルが高かったのですが、高関さんもおっしゃっていたように、意外に調整すると参加できる、協力が得られるのだと思いました。来年度、研修に行きたいと思いました。ただ、どのコースが良いのか悩みます。
- ・ 特定行為看護師は、敷居が高いと感じていましたが、在宅看護を行うにあたり、とても身近に感じることができました。利用者さんのためになるし、自分自身のスキルアップにもつながるので、勉強してみたいと思いました。
- ・ 特定行為研修を近い将来受けてみたいと思いました。
- ・ 事例を通して、多職種からみた特定行為看護師の活動が聴けて、参考になった
- ・ 通常の訪問看護師指示書以外にも、特定行為を行うための手順書や指示書でお金がかかるので、新たな支払いが必要。でもそれを上回る利用者さんの思いがあるといいと感じた。
- ・ 今回、医師から特定看護師の活用方法についてお話を聞けたのがすごく参考になりました。導入を検討している医師や、逆に特定看護師に対して不安のある医師の率直な意見を聞ける機会をいただけると今後の参考になります。
- ・ 特定行為終了後の報告内容（様式）・手段等を教えていただけるととても助かります。
- ・ 特定看護師ができること、医師の直接指示を待たずに迅速に対応できること、連携することでの利用者さんへの利益などについて学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・ 特定行為ができる看護師が関わった事例についてもっと知りたい。

- ・ 看護師不足から法人内で今後研修に行けるような補助金の活用や人材の確保、経営維持が求められる中でこれまでも訪問看護と連携して指示書が活用されてきたが、医師のタスクシフトから多くの医療行為が看護師に委ねられる、医療事故の際の責任の所在や看護師が守られるのか、少し不安も感じる。できるならば現行の看護教育に組み込み、将来的には行為そのものを習得した看護師を育成してほしい。
- ・ 制度的な講話のみでなく、現場での活用の仕方、多職種連携の実際についてわかりやすくお教えいただき大変感謝しております。今回のような連携の実際について、今後も取り上げていただきたいです。
- ・ 特定看護師は在宅医療の中でとても力を発揮することができると思います。
大変なことも多いかと思いますが、人数が増えることを期待しています。

【介護福祉士・社会福祉士】

- ・ 特定看護師制度が導入された背景はよく理解できました
- ・ 私自身は福祉職なので医療の知識は少ないが、このような研修を通して知識を得ることで、医療依存度の高い利用者に還元できると感じた。
- ・ 顔の見える関係を持つ為には、やはり一方的な研修より交流が出来る研修も開催してほしいです。

【介護支援専門員】

- ・ 医療の知識の乏しい自分には専門用語が難しかったです。でも、医師の先生、薬局の薬剤師さんなどのお話を聞けて連携することに同じ思いをもっていらっしゃることが分かったので良かったです。コロナ渦での退院支援が難しくなっているので（特に面会ができないため）研修の中でヒントがあるとありがたいです。
- ・ 特定行為看護師制度を知らなかったので、今後の業務にかなり参考になりました。多職種の連携が利用者様に対し信頼、効率化をより図ることができると改めて感じました。
- ・ 自宅で看取りの時に医療依存度が高くなるのでケアマネとしては一歩引いてしまいます。医療従事者の基礎資格を持っていない自分が看取りを支えるときに訪問看護の存在がとても大切になってくるので、研修で学んだことを大切にしていきたいと思います。
- ・ とても内容の充実した研修会でした。今後も、精神科的疾患による多問題を抱えるケースなども連携事例など研修会で取り上げていただけるとありがたいです。開催は、Webでも、集合でもどちらでも参加したいと思います。貴重な学びをありがとうございます。
- ・ 介護保険の在宅復帰や、医療依存度の高い利用者に積極的に活用していきたい。
- ・ 特定看護師の事を知らなかったため勉強になった。今後も在宅生活に役立つ知識を増やしていきたい
- ・ 定期的に医師や看護師の方と研修できる環境があるのはありがたいです。ただ、zoomだとあまり交流がないので、コロナの感染状況次第では会場での研修も予定していただけるとうれしいです。
- ・ せっかくなので、グループワーク等顔の見える関係づくりがしたい。